

湊川相野学園 16

ニュース

発行:2016年3月
湊川相野学園理事長室会

No. 16

ひとを育て、ともに歩んで100周年



「短大新校舎建設地鎮祭」

2月23日水曜日午前10時より、小雪の舞う中キャンパス整備計画第二期工事起工式の地鎮祭が現地で執り行われました。学園関係者と設計・建設業者が参列し、工事の安全を祈願しました。完成する建物は講義演習棟・地上4階鉄筋コンクリート造で2号館の改修工事も行います。採光に配慮した前面ガラス張り仕様で、環境にもやさしい設計になっています。学生たちが、見下ろす中庭キャンパスには緑の芝生と花が咲き学園を訪れる多くの人の心を癒すことでしょうか。無事工事が終了することを心より願っています。



「短大キャリア教育研究国際セミナー」(3月1日)

3月1日(火曜)9時30分より12時まで(三田松聖高等学校 多目的教室)、13時から16時まで「ライフストーリーを用いた学生支援の理論」カナダのケベック大学モントリオール校 ダニエル・エマレ教授、「学生指導へのライフストーリーの応用」同大学 パスカル・ガルバーニ教授を講師としてお招きし、神戸大学ライフストーリー研究室主催、湊川短期大学・三田松聖高等学校共催、三田市教育委員会後援で学生たちの将来の労働生活に深く関わってくるキャリア教育のセミナーが開催されました。入試制度改革や高大連携の議論が高まる昨今、参加した学生や生徒たちは自己意識の再構築に向けて熱心に受講していました。



松聖高校「高校生議会へ参加」(1月31日)

1月31日三田市市議会本会議場において行われた「高校生議会」に参加しました。市内高校7校の生徒23人が市政への関心を高める目的で開催されたのです。松聖高等学校からは2年生の酒井洸輔君、高島舞唯さん、守田美咲さんが参加し、バリアフリー等の問題提起をしました。これは選挙権が18歳に引き下げられることを考慮し、若者にも政治参加意識を高めてもらおうと市が企画したのですが、答弁の言葉「政治用語・官僚言葉？」(そのように努めたい、今後の対応に期待したい等)をもっとわかりやすい言葉を使って議論したほうが良いと思うのは、この記事を読んだ率直な感想です。どちらにしてもこれからの日本を担う若者が政治に関心を持ち、暮らしやすい環境創造へ努力することは大切なことだと思います。(神戸新聞2月1日記事参考)



松聖高2年生「少林寺拳法で全国大会出場」

三田松聖高等学校2年生少林寺拳法部、宮崎大(みやざきゆたか)君が昨年11月三木高校での新人戦、男子規定単独演武の部において優秀賞、12月19日~20日兵庫県立武道館で行われた男子規定単独演武では最優秀賞の成績をおさめ、今年3月25日より場所を善通寺市民体育館(香川県)に移して開催される「全国高等学校少林寺拳法選抜大会」に出場予定が決まりました。宮崎君は強い精神力とキレのある技の持ち主で、これまで自分に厳しく少林寺拳法に取り組んできたことが、花開いたのだろうと顧問の先生はおっしゃいます。全国大会には出場校197校・出場者881名が参加するのですが、臆することなくいつもの一生懸命をつらぬいてくれることでしょうか。



お知らせ

来る4月1日、19時より(受付18時30分)三田ホテルにおいて学園全体の教職員が一堂に会し、新年度を迎えるにあたり、更なる親交を深める恒例の「湊川相野学園交流会」を開催準備中です。後日、詳細は皆様に連絡がありますので、宜しくお願いいたします。